

# 国際交流および国際化 WG 平成29年度の活動に関する報告

八戸工業大学国際化ワーキンググループ長 高橋 史 朗

八戸工業大学における平成 29 年度の主要な国際化活動状況につきまして、以下報告いたします。下記はあくまでも国際化ワーキンググループが把握している活動であり、個々の先生方の活動の中には十二分に把握できていないものがあることをお許しいただければ幸いです。

## I. 国際交流事業の実施状況

### 1. 新疆大学（中国）

- ・訪問期間：平成 29 年 9 月 5 日～ 10 日
- ・訪問者：長谷川学長、阿波学務部次長
- ・目的：交流協定延長、大学院留学生（2 名）状況報告、新年度から新規 1 名



交流協定延長手続き署名式の様子

### 2. 国立ユーラシア大学（ENU）（カザフスタン）

- ・訪問期間：平成 29 年 6 月 16 日～ 26 日
- ・訪問者：長谷川学長
- ・目的：交流協定締結、講演、今後の留学生・研修生の受入れの打診



国立ユーラシア大学（ENU）



協定式で握手を交わす ENU  
イエラン・シディコフ学長(写真:左)と長谷川学長(写真:右)

### 3. 太平洋国立大学（ロシア ハバロフスク）

平成 29 年 10 月 11 日、長谷川学長が青森市にて「青森県・ハバロフスク地方友好協定締結 25 周年記念晩餐交流会」出席

### 4. 国際会議等、海外出張関係

国際会議等での発表、聴講等：14 件、現地調査等：8 件

### 5. 学内での研修等による国際国流

#### (1) 原子力人材育成関係

- ・平成 29 年 9 月 14 日、10 月 5 日～11 月 30 日
- ・研 修 員：文部科学省「原子力研究交流制度」によるアジアからの研修生
- ・目 的：原子力安全工学などのゼミや実験、学会・フォーラム等への参加やエネルギー関連施設の視察などの研修



研修成果報告会の様子

#### (2) JICA 青年研修カンボジア職業訓練コース

- ・研修期間：平成 29 年 9 月 20 日
- ・参 加 者：職業訓練校教員（行政官含む）14 名、JICA 職員 2 名、NPO 職員 3 名
- ・対 応：機械情報技術学科
- ・研修内容：学生の実験・実習現場の視察および教員・学生との質疑応答



実験・実習現場の視察



集合写真

(3) 米軍三沢基地内エドグレン高校異文化交流活動

- ・研修期間：平成 29 年 12 月 5 日
- ・参加者：生徒 19 名、教員 2 名、保護者 2 名
- ・対応：英語教室、感性デザイン学科
- ・研修内容：書道体験、地域文化紹介、缶バッジ製作



書道体験の様子



エドグレン高校の皆さん

## II. 国際化 WG における検討状況

### 1. ENU との交流協定およびカザフスタン国家給付制奨学金関係

- (1) 学術交流協定については上述の通り、今年度すでに調印を終えています。
- (2) 現在、カザフスタン政府の国費奨学金（Bolashak 奨学金）の対象大学となるべく、関係機関とコンタクトを図っています。

### 2. 中国語海外研修

- (1) 瀋陽工業大学の施設移転に伴い、同大学ではしばらく海外研修を実施できない見込みです。
- (2) 次年度 4 月に募集を開始するには、2 月頃までに研修先を決定する必要があるため、現在、大連理工大学に対し、2018 年夏 2 週間の研修受け入れ大学を打診中です。
- (3) 八戸学院大学との単位互換に登録して、同大学学生の参加を受け入れることも検討します。

### 3. 英語海外研修

- (1) 今年度は ISS という業者のトロントのプランを提示し、4 名程度が参加見込みです。
- (2) 次年度については、ISS の提案をもとに立案する予定です。
- (3) 八戸学院大学との単位互換の可能性についても検討しています。

### 4. その他

- (1) キャンパス内での国際交流事業について検討しています。
- (2) 留学生の増加策についての意見交換を行っています。